

一 般 質 問 通 告 書

大 台 町 議 会

令和6年第4回定例会

令和6年第4回大台町議会定例会 一般質問通告（質問事項）		
通告順	（議席番号）議員氏名	質問事項
1 番	（2）宮田明彦	①各地区の集会所等や集まる場所の重要性とその活用方法について ②町の体育館の空調設備について
2 番	（6）米森清裕	①小中学生の英語教育の充実化について ②水道事業・生活排水処理事業の、未収金及び料金徴収について ③修学旅行と社会見学の無償化について
3 番	（10）野村政美	①森林・林業施策について ②フッ化物洗口の実施について ③地域公共交通の取組について
4 番	（1）古田廣幸	①公共施設等総合管理計画について ②文化施設整備計画について
5 番	（5）岸良隆	①農業機械共同利用補助金の見直しについて ②町民の意見を積極的に聞くための取組について

令和6年第4回大台町議会定例会 一般質問通告書					
通告順	1 番	議席番号	2 番	議員氏名	宮田 明彦
質 問 事 項		質 問 内 容 要 旨			質問の相手
①各地区の集会所等や集まる場所の重要性とその活用方法について		町は集会所等の各自治会等への譲与を順次進めている状況ですが、集会所の活用を町の施策として実施することで、元気な高齢者が増えて介護保険の削減につながったり、集会所がコミュニティの拠点となって地域力が高まったりすることが考えられる。 また、地域防災の拠点としての役割を増やしたり、オンラインの活用などで地域と役場を結びつける場にしたりできるのではないかと考えた。以下の4つの意見について、町の見解を伺う。 (1) 令和5年第1回定例会の一般質問で、町は、「集会所など日常的に集まる場所があることは健康保持につながる。」と答弁している。集会所が散歩の目的地になったり、コミュニティの場所となったりすることは、身体的な健康保持だけでなく、話す機会が増えて精神的な健康保持にもつながるのではないかと考えた。遠くへの移動が難しい高齢者にとって、各集会所は比較的身近な場所に位置する場合が多い。休日には、場所によっては、地域の若い世代が子どもを連れて併設の公園で遊ぶ中、そこにいる高齢者と話す機会も生まれるかもしれない。 つまり、集会所が高齢者のための地域の拠点となるように、町が、老人会や区長会などを通じて、うまく活用している事例を紹介したり、民生委員の方をお願いしたりするなどの働きかけを行うような施策を講じるべきだと考える。 この考えについて、町の見解を伺う。 (2) 各地区にある集会所に対して、令和4年第1回定例会の一般質問で「地域コミュニティの形成に寄与し、活力ある自治会活動が展開されるための施設になることが、一番大切で			町長

令和6年第4回大台町議会定例会 一般質問通告書					
通告順	1 番	議席番号	2 番	議員氏名	宮田 明彦
質 問 事 項		質 問 内 容 要 旨			質問の相手
		あると認識している」と町は答弁していたが、全ての区が活用できているとは言い難いのではないかと考える。活用されにくい要因としては、防犯上の理由から鍵による施錠が必要であり、管理が面倒であるなどという理由が一つであるとする。 集会所をコミュニティの拠点とするため、集会所の前に簡易的な屋根をつけて、ベンチを置いて人が集う場にしてはどうか。 これらを実現するために、今ある集会所に対する補助金制度を一定期間増額して、積極的に後押しする施策が必要ではないかと考える。 またベンチについては、経費をかけずに設置する方法として、昴学園の生徒が以前発表していた、町民からの寄付で集めた資金でベンチを設置するという方法も考えられる（ベンチに寄付者の名前を記載する取組）。 これらの考えに対して、町の見解を伺う。 (3) 各地区の集会所の Wi-Fi 環境を整備することで、インターネットを使った様々な活用方法が考えられる。1つ目は、地域住民が日常的なカラオケなどの交流や、情報収集をする場となることが考えられる。2つ目は、町内の集会所間をオンラインで繋ぐ仕組みをすることで、地理的に離れた場所にいる町民同士がオンラインを通じて話をするなどして町内に知り合いの幅が広がったりすると考える。 3つ目は、役場と町民が定期的にオンラインで話し合いの場を持てるようにすることで、役場は情報収集でき、住民は意見を伝える場ができる。4つ目は、災害時の情報共有に役立つ。このように様々な効果が考えられる。 経費はかかることが予想されるが、私は費			

令和6年第4回大台町議会定例会 一般質問通告書					
通告順	1 番	議席番号	2 番	議員氏名	宮田 明彦
質 問 事 項		質 問 内 容 要 旨			質問の相手
		用対効果が見込まれると考える。 各集会所への Wi-Fi 環境の整備について、町の見解を伺う。 (4) 人が集まって話ができるような場があれば、コミュニティが形成され、地域力が高まっていくと考えられる。地域力が高まれば、必然的に地域の知り合いのために何かしてやろうという意識を持つ人も増えていくと考えられる。それが、9月議会で述べた防災の観点など、様々な場面で必要とされる共助の力を高めることに繋がると考える。1点目から3点目の施策を講じることが、一番の近道だと考える。 町として、地域力や共助の力を高めるために、どのような施策を講じているのか伺う。			
②町の体育館の空調設備について		現在、町の避難所に指定されている施設の中に、各学校の体育館がある。町が避難所に指定している施設によっては空調設備が整っている施設もあるが、大台町の体育館で空調設備が整っている施設は1つもないと思われる。B & Gの体育館も含めて、夏に災害が起こって一時避難した場合、果たしてそこで過ごせるのか。 また、避難所としての観点だけでなく、今年の猛暑を考えれば、夏の時期に学校で体育の授業はできるのかということや、水上カーニバルの待機所として適切なのかなど、今のままでいいのかと感じた。 (1) 震災が迫っていると言われる中、早急に避難所を改善していくべきだと考える。町はこのような事態について、今後どのようにしていくか、見解を伺う。 (2) 異常気象が異常でなく恒常化してきており、学校現場では、夏の体育の授業や休憩時間の			町長 教育長

令和6年第4回大台町議会定例会 一般質問通告書					
通告順	1 番	議席番号	2 番	議員氏名	宮田 明彦
質 問 事 項		質 問 内 容 要 旨			質問の相手
		過ごし方などに支障が生じてきている。 町はこのような学校の現状について、今後どのように対処していくか、見解を伺う。			

令和6年第4回大台町議会定例会 一般質問通告書					
通告順	2 番	議席番号	6 番	議員氏名	米森 清裕
質 問 事 項		質 問 内 容 要 旨			質問の相手
①小中学生の英語教育の充実化について		10月4日、宮川中学校にて多気郡英語授業研修会が行われました。この日はインドネシアの生徒とリモートによる英会話向上のための授業が行われました。これには町長と副町長が参観されました。 (1) リモート授業は県の事業であり3回行われました。しかしながら、この事業も今年で終了とのこと。町としては、県にこの事業の継続を要請する意思はあるか、それとも町単独でこの事業を継続させる意思はあるか伺います。 (2) ある自治体では小学1年生から、英語の授業を必修科目とし、9年間、一貫したカリキュラムで英会話等、英語に慣れさせる授業を行っています。当町においても小学1年生から英語の授業を必修科目とすることは出来ないのか伺います。 (3) 以前、英語力向上のため海外語学研修事業が行われていましたが、この事業を復活する考えはないのか。 また、英語力の向上ため、町内在住外国人との交流の場を設ける事業を実施する考えはないのか、伺います。			町長 教育長
②水道事業・生活排水処理事業の、未収金及び料金徴収について		町は、水道事業・生活排水処理事業の料金改定を行い、令和7年4月から料金の値上げを予定されています。この値上げに伴い、料金の滞納額が増えるのではないかと危惧するところです。そこで、未収金と不納欠損の現状と今後の回収策について伺います。また、水道料金滞納者への給水について現在の対応を伺います。			町長

令和6年第4回大台町議会定例会 一般質問通告書					
通告順	2 番	議席番号	6 番	議員氏名	米森 清裕
質 問 事 項		質 問 内 容 要 旨			質問の相手
③修学旅行と社会 見学の無償化に ついて		町はこれまで、学校給食の無償化、高校生の通 学費の助成、大学入学時の奨学金支援、また、来 年度から18歳まで対象年齢の引き上げが行われ る予定であることも医療費無償化など、子育て世 帯支援と共に家庭の負担軽減を執ってきました。 水道事業・生活排水処理事業の料金値上げに伴い 家庭の負担軽減の一環として、修学旅行と社会見 学の無償化の実施を考えるべきだと思いますが見 解伺います。			町長 教育長

令和6年第4回大台町議会定例会 一般質問通告書					
通告順	3 番	議席番号	1 0 番	議員氏名	野村 政美
質 問 事 項		質 問 内 容 要 旨			質問の相手
① 森 林 ・ 林 業 施 策 について		(1) 森林環境譲与税を活用し、三瀬谷ダム湖周辺の森林のスギ・ヒノキから広葉樹への樹種転換に取り組んでいるが、今後この森林をどのように整備し、大台町の振興等に役立てていくのか。 また、町の思い描く森林に誘導していくためには、町有林化が必要ではないか。 (2) 大台町で取得した J-クレジットの販売状況はどうか。 また、J-クレジットのさらなる獲得に向けて、松阪市のように町の実施する森林経営管理事業の施工地で、J-クレジットを獲得するように取り組めばどうか。 (3) 本年度から年間千円の森林環境税が徴収されている。それを財源に、森林環境譲与税が各市町村等に配分され、森林整備等に活用されている。 例えば、大台町は町民が負担する税の額に比べ、20倍ほどの譲与税が配分されていることになる。ということは、譲与税の活用においては、町民はもちろんであるが、国民全体、特に伊勢市等の下流域の方にとっても、より良い恩恵をもたらすような森林整備を図るべきではないか。 そのためには、従来の間伐の手法で漫然と森林整備するのではなく、森林の持つ公益的機能の高い下層植生が豊かな森林造成するための間伐を実施していくべきではないか。			町長

令和6年第4回大台町議会定例会 一般質問通告書					
通告順	3 番	議席番号	1 0 番	議員氏名	野村 政美
質 問 事 項		質 問 内 容 要 旨			質問の相手
②フッ化物洗口の 実施について		小学校のフッ化物洗口の導入については、令和7年度秋の実施に向けて進めており、そのために、教職員の研修やマニュアル作成に取り組んでいるとのことであるが、具体的にはどのような取り組みをしているのか。 また、昨年12月の総務教育民生常任委員会の報告では、このフッ化物洗口の取組がそのまま教職員の負担増にならないような対策も併せて取り組むことを提言したが、具体的な取り組みは何か。			町長 教育長
③地域公共交通の 取組について		(1) 地域公共交通の見直しのために、町営バスの乗降調査を実施しているが、その結果に基づきどのように見直しをするのか。 (2) 町営バス以外の地域公共交通の利便性を向上させるための具体的な取り組みはあるか。			町長

令和6年第4回大台町議会定例会 一般質問通告書					
通告順	4 番	議席番号	1 番	議員氏名	古田 廣幸
質 問 事 項		質 問 内 容 要 旨			質問の相手
①公共施設等総合管理計画について		平成24年12月に起きた「中央自動車道 笹子トンネル天井板落下事故」をきっかけに公共施設のマネジメントの大切さが見直されました。大台町では平成28年11月に「大台町公共施設等総合管理計画」が策定されました。それを受けて令和3年3月には、個々の施設の具体的な方向性・方針を示した「大台町公共施設個別施設計画」が作成され、施設ごとに「長寿命化・更新・統廃合・複合化多機能化・用途変更・譲渡・廃止」の方向で取り組んできています。 (1)「大台町公共施設等総合管理計画」における公共建築物の基本方針では、新規整備事業については、単独の整備は行わずに施設の複合化・集約化、廃止・統廃合を基本としています。今後、新規に整備をする施設については、この方針に沿った整備事業になるのでしょうか。 (2)建物のライフサイクルは、耐用年数から4段階に分類されます。耐用年数の0%～25%が経過した「開始期」、26%～50%の「安定供給期」、51%～75%の「成熟期」、76%～100%の「収束期」です。この「収束期」の施設では大規模改修、必要ならば建替えや廃止が検討されます。そこでこの「収束期」に当たる施設の中でも、建築から62年の川添小学校、45年の就業改善センター、44年の町民体育館、40年の大杉谷出張所について、現在の施設状況と今後の取組について伺います。 (3)町は、基本方針の中で、公共建築物の削減率について、令和12年度時点で平成27年度と比較し17%削減するという目標を掲げています。現在の管理計画の進捗状況と、目標値が達成可能かどうかを伺います。			町長

令和6年第4回大台町議会定例会 一般質問通告書					
通告順	4 番	議席番号	1 番	議員氏名	古田 廣幸
質 問 事 項		質 問 内 容 要 旨			質問の相手
②文化施設整備計画について		この構想は、旧大台病院跡地に最大で、図書館、文化財展示室、文化財保管スペース、文化ホールを備えた建物整備を検討するもので、想定事業費は8億円から10億円を見込んでいるとのこと。ただ人口減少を続ける大台町にとって、このような大きな投資が財政上どのような影響が出るのか心配をしますが、町民の福祉向上になり施設が利用されることで地域の活性化に繋がるのであれば必要ではないでしょうか。 (1)「文化施設整備計画」については、大台町にとっては大きなプロジェクトになりますが、担当課はどこで、どのような取組を行っていますか。 (2) この文化施設が建てられたとしても、どのように活用していくかが大切で、利用されなければ無用の建物になってしまいます。毎日町民が利用してこそこの施設の存在価値があります。整備計画にはただ建てるだけでなく、どのような活用方法があるのかも加味して考えていくべきではないでしょうか。この点についてどのように考えているか伺います。			町長 教育長

令和6年第4回大台町議会定例会 一般質問通告書					
通告順	5 番	議席番号	5 番	議員氏名	岸 良隆
質 問 事 項		質 問 内 容 要 旨			質問の相手
①農業機械共同利用補助金の見直しについて		(1) 高齢化及び担い手不足により、遊休農地化が進み、荒廃農地になっていくことが危惧されます。 町は、営農を維持していくための手段として、大台町農業機械共同利用補助金を設けていますが、現在の状況を考えると農地の保全を図っていくことが必要と考えます。 農地を守っていく活動を後押しするためにも、現行の「大台町農業機械共同利用補助金交付要綱」の次の点について、見直す考えはありませんか。 ①補助金の交付対象者 ②補助対象機械の種類 ③補助金の額 (2) 守った農地を保全から利用することにつなげていく（近隣の方や移住者等に利用してもらう）取組を町が先導する考えはありませんか。			町長
②町民の意見を積極的に聞くための取組について		(1) 町施策の町民への周知方法として様々な広報が行われていますが、すでに決まったことを伝える手段として利用されていることが多いと思います。その中で「広報おおだい」は、多くの町民の方に読まれています。 広報おおだいについては、町が伝えたい、知っていただきたい施策の掲載をトップに掲載すべきと思いますが、広報誌の紙面づくりについての考え方をお聞きます。 (2) 住民からの意見公募について、パブリックコメントの手段により行われることが多いですが、寄せられる意見は多くはありません。民意を反映したものとなっていると考えていますか。 (3) 重要な案件によっては、町政懇談会など出			町長

令和6年第4回大台町議会定例会 一般質問通告書					
通告順	5 番	議席番号	5 番	議員氏名	岸 良隆
質 問 事 項	質 問 内 容 要 旨				質問の相手
	向いて説明し、意見を聞くことも必要と考えますが、今後の取組として取り入れる考えはありませんか。 (4) 行政放送（語りかける）で施策の説明をし、そのうえでパブリックコメントを求めるなど行政放送を活用する考えはありませんか。				